学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	課題実習Ｂ（プロダクト）	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

平面表現から立体表現に至る各種素材の研究と基礎造形知識を応用し、与えられた課題に対し自らがアイデアを考え制作する力を学びます。立体表現については人数が多い場合は班編成で行う場合もあります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
プロダクトデザインに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
学習によって得ることのできた基礎的・基本的な知識と技術を生かして社会に通用しうる作品作りに挑む。自ら課題を見つけて解決していく。
【学びに向かう力、人間性等】
自己のテーマ設定をしっかり行い、分析・検討を生徒自らが行うことを求める。デザイン工程を計画し、調査・検討・デザイン企画・デザインワーク・情報発信とてデザインワークとして取り組む。最後に様々な方法でのプレゼンテーションを行い、自らの発信力を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プロダクトデザイン分野における道具の使い方や名称、素材の加工方法など基礎的、基本的な知識、技術を応用し今後の制作活動に役立てる。	プロダクトデザイン分野の技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	プロダクトデザイン分野に関する技術向上を目指して自ら学び、工業技術の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	子どもの紙のおもちゃ制作	子どもについての調査 ・グループワーク後発表 紙のおもちゃのデザイン ・企画 ・アイデアスケッチ ・モデル制作 ・本作制作 ・プレゼンボード制作	a:それぞれの素材に関して制作過程を理解し作業を行うことができるか。安全で丁寧な作業を行うことができるか。 b:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイデアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 c:主体的かつ協働的に取り組むことができているか。	学習状況の観察 作品	レポート 作品	学習状況の観察 課題の提出状況
2	子どものおもちゃ制作	各種素材を使った、幼児用おもちゃの制作 ・アイデアスケッチ ・試作モデル制作 ・本作制作 ・プレゼンボード制作	a:それぞれの素材に関して制作過程を理解し作業を行うことができるか。安全で丁寧な作業を行うことができるか。 b:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイデアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 c:主体的かつ協働的に取り組むことができているか。	学習状況の観察 作品	レポート 作品	学習状況の観察 課題の 提出状況
3	プレゼンテーション	１,2学期で制作した作品のプレゼンテーション ・プレゼンボードの制作 ・発表準備 ・工芸高校展での発表	a:それぞれの素材に関して制作過程を理解し作業を行うことができるか。安全で丁寧な作業を行うことができるか。 b:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイデアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 c:主体的かつ協働的に取り組むことができているか。	学習状況の観察 作品	レポート 作品	学習状況の観察 課題の提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度